

11月

出雲神在月 第1回市民芸術文化の祭典を開催

「本物志向と住民参加」をテーマに開催している出雲総合芸術文化祭では、市民の芸術文化活動を広く紹介することを目的に、市民の作品展示や活動紹介、郷土出身・在住の声楽家によるコンサート、文化講演会などを盛り込んだ「出雲神在月 第1回市民芸術文化の祭典」を開催しました。



11月

出雲阿國座(仮称)創設へ

出雲阿國座(仮称)の建設費などを再検討し、総事業費を32億8,200万円に減額した予算案を11月27日の市議会に提案し、承認されました。

これにより、歌舞伎の始祖・出雲阿国生誕の地であるこの出雲にこそふさわしい、全国唯一オシリーワンの舞台劇場となる出雲阿國座(仮称)を創設し、文化観光産業の中核拠点として位置づけ、出雲市の目指す「21世紀出雲神話観光大国の創造」に向け大きく前進していきます。

生活経済安定対策 市独自事業を推進

育児にかかる経済的負担の軽減を図るため、4月から3歳未満の乳幼児医療費を無料としました。また、11月には

景気の減速が地域経済に与える影響を考慮し、地域経済活性化と安心な生活を実現するための緊急総合対策を実施しました。



青少年が文化・スポーツの分野で大躍進

- *将棋の女流タイトル戦の倉敷藤花戦で、大社高校2年の里見香奈さんが、史上3番目の年少記録でタイトル奪取。
- *なぎなたで、出雲北陵高校の龍澤瑠梨子さんが、春の選抜大会・高校総体を制し、史上初の春夏連覇を達成。
- *全国高校選抜弓道大会で、出雲高校女子団体が初優勝。
- *国体陸上少年女子B1500mで、平田高校1年の来海りえさんが大会新記録で優勝。
- *全国中学校体育大会ソフトテニス男子団体で、大社中学校が県勢初の優勝をするなど、出雲の青少年が大躍進しました。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
● 出雲市緊急雇用相談所を開設	● 出雲神在月教育フェスティバル開催	● 出雲市緊急雇用相談所を開設	● 記念大会を相次ぎ開催 第20回出雲駅伝・第30回一畑薬師マラソン大会	● 出雲科学館入館者100万人達成	● 出雲須佐温泉ゆかり館入館者150万人達成	● トキ近似種飼育施設でヒナ誕生も開催	● ふるさと納税制度が始まる	● 次世代エネルギー・パーク計画が認定	● 観光政策推進本部・出雲ブランド課を設置	● 県立こころの医療センター竣工	● 出雲市地域省エネルギー・ビジョンを策定

こんなこともありました

12月

トキの分散飼育地に決定

12月19日、国際保護鳥トキの新たな分散飼育地として、出雲市が正式に決定しました。今後、トキ分散飼育センター(仮称)を建設するなど本格的な準備を行うとともに、トキをシンボルとして市の自然環境を守り、安全で安心な生活環境を保ち「人とトキをはじめとする野生生物が共生できる地域環境」を、市民とともにつくることを目指します。



6月

アイルランド国 ダンレアリー・ラスダウン市と 友好交流都市協定締結

出雲市とアイルランド国ダブリン県ダンレアリー・ラスダウン市が、2002FIFAワールドカップ・アイルランド出雲キャンプをきっかけとして交流の輪が発展したことに伴い、6月5日、友好交流都市協定を締結しました。アイルランド国内の都市とは全国初という、大変光栄で記念すべき協定締結になりました。

友好交流都市協定調印式



4月

出雲大社「平成の大遷宮」始まる

国宝の出雲大社本殿の大屋根を約60年ぶりに葺き替える「平成の大遷宮」が本格的にスタートしました。また、本殿が59年ぶりに一般公開され、約28万人を超える方が見学されました。



5月

松くい虫防除薬剤空中散布本年度中止

5月26日に実施した松くい虫防除の農薬空中散布後に、1,000人を超える方が体調不良を訴えたことを受け、空中散布の本年度の中止を早急に決定するとともに、健康被害原因の早期究明に努めました。また、今後の松くい虫防除対策を検討するため、10月、「出雲市松くい虫防除検討会議」を立ち上げ、今後の検討会議からの報告をもとに具体的な施策を構築していきます。



11月

全国男女共同参画宣言都市 サミットinいすも開催

11月7日、全国男女共同参画宣言都市サミットinいすもが開催され、男女共同参画のまちづくりへの気運が盛り上がりいました。

また、11月8日には記念事業として7つの分科会を開催し、さまざまなテーマによる講演やパネルディスカッションにたくさんの方が参加されました。



9月

出雲市まちづくり基本条例を制定

市民・市議会・市行政が連携・協働してまちづくりを推進するための「出雲市まちづくり基本条例」を制定し、地方分権自治の担い手にふさわしいまちづくりを目指しています。

